



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

各位

2021年12月28日

株式会社 おきぎん 経済研究所

おきぎん県内景況・速報（2021年11月分）

◎県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くものの、一部で持ち直しの動きがみられる。

☆個人消費：スーパー売上高は全店ベース、既存店ベース共に前年同月を下回る。

百貨店売上高は前年同月を下回る。

家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も下回る。

☆建設関連：公共工事請負金額は前年同月を上回る。

新設住宅着工戸数は前年同月を上回る。

生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

☆観光関連：入域観光客数は前年同月を下回り、観光施設入場者数も下回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルの

すべてで前年同月を下回る。ホテル客室単価、宿泊収入(推計値)にお

いても前年同月を下回る。

☆企業倒産：件数は前年同月を下回り、負債総額は上回る。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：新垣、中江、小嶺 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・速報(2021年11月分)

◎2021年11月 おきぎん「カトリア」景況図



◎概況：県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続くものの、一部に持ち直しの動きがみられる。

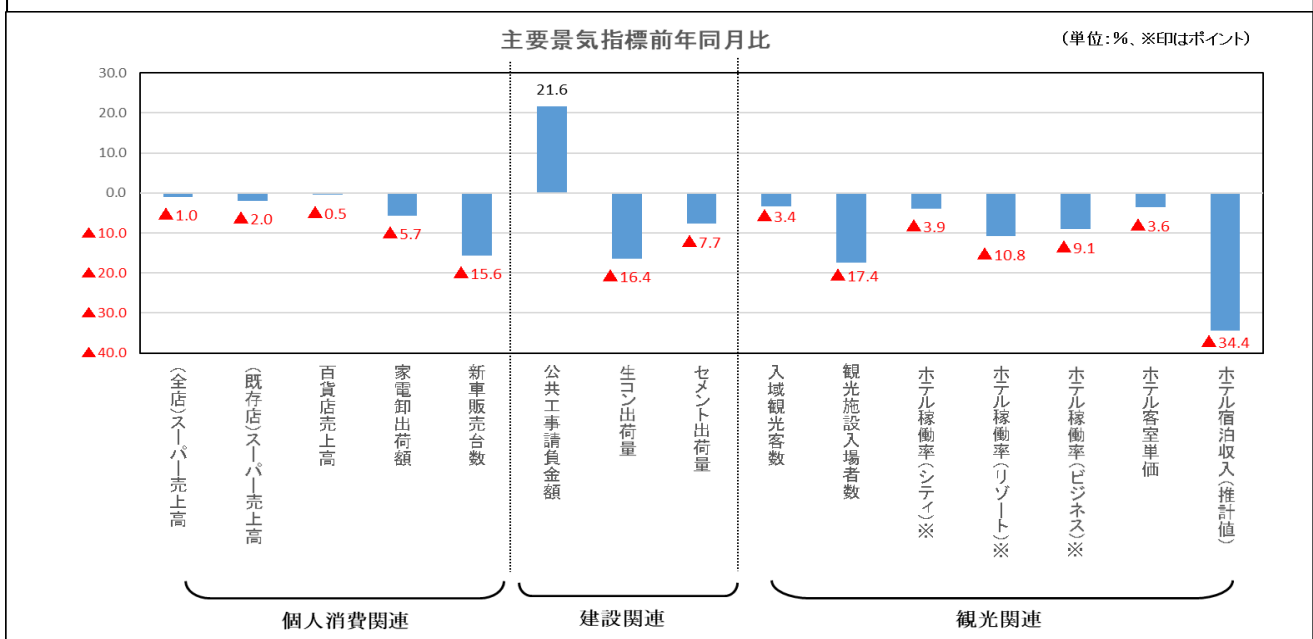
11月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を下回りました。百貨店売上高は、前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を上回りました。新設住宅着工戸数は前年同月を上回り、建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は前年同月を下回り、観光施設入場者数においても前年同月を下回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回りました。ホテル客室単価、宿泊収入(推計値)においても前年同月を下回りました。一方、前年同月差は縮小傾向にあり、持ち直しの動きがみられます。

このような状況に鑑みて、個人消費は緊急事態宣言解除に伴う客足の戻りがあるものの、耐久消費財で供給制限などにより弱さが見られ、建設関連は民間工事に弱い動きが続いています。観光関連は新型コロナウイルス感染抑制や行動制限の緩和などにより、改善の動きがみられます。よって、「県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続くものの、一部に持ち直しの動きがみられる」と景気判断を上方修正しました。

(上方修正)



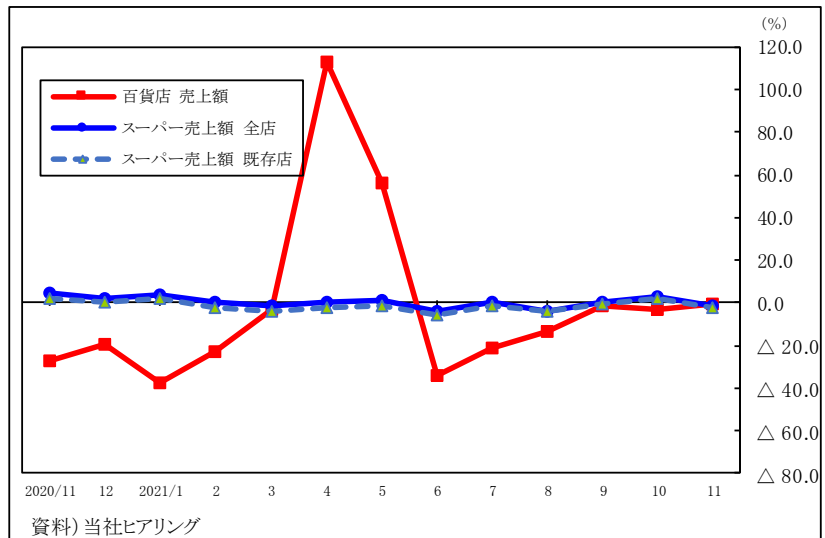


■個人消費：（やや悪い）

① スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を下回る。百貨店売上高は、前年同月を下回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2020/11	4.5	2.3	△ 27.0
12	2.2	0.4	△ 19.3
2021/1	3.9	1.7	△ 37.7
2	0.1	△ 2.1	△ 22.6
3	△ 1.7	△ 3.7	△ 3.5
4	0.2	△ 1.9	113.0
5	1.0	△ 1.0	56.4
6	△ 4.1	△ 5.6	△ 34.3
7	0.7	△ 1.3	△ 20.8
8	△ 3.6	△ 3.8	△ 13.7
9	0.0	△ 0.5	△ 1.2
10	2.9	2.3	△ 3.0
11	△ 1.0	△ 2.0	△ 0.5



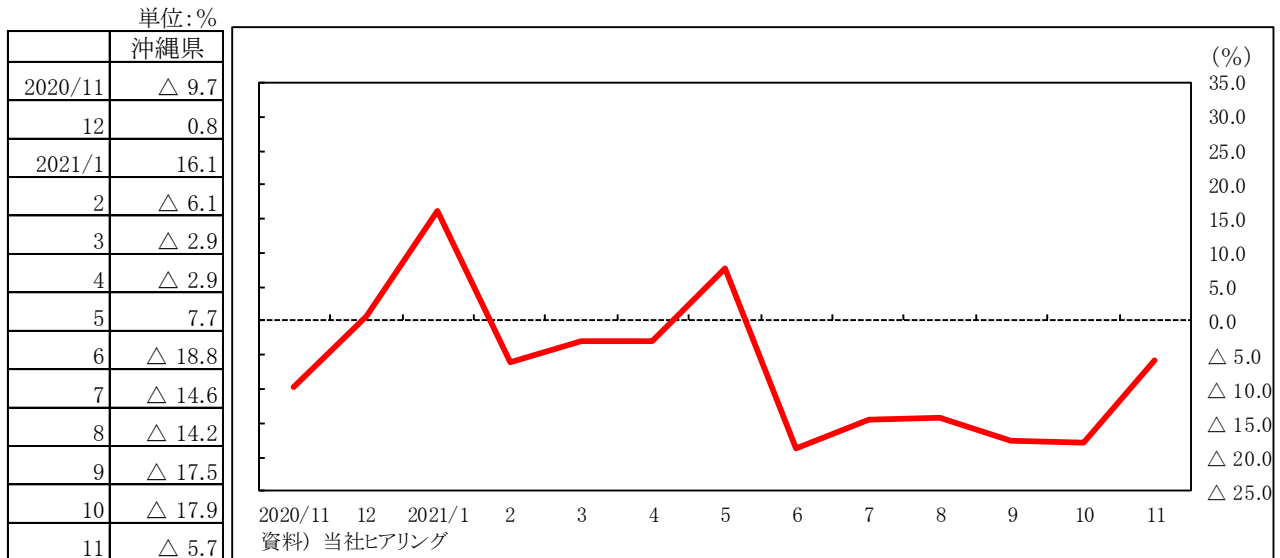
注) 前年同月比

11月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比1.0%減)」は、前年同月を下回りました。品目別では、「家庭用品(同1.8%増)」は前年同月を上回りました。「衣料品(同6.5%増)」は緊急事態宣言解除後の来客増加により前年同月を上回りました。「食料品(同2.2%減)」は前年の巣ごもり需要の反動により前年同月を下回りました。

「既存店ベース(同2.0%減)」は、前年同月を下回りました。品目別では、ウエイトの高い「食料品(同2.8%減)」は、緊急事態宣言解除後、巣ごもり需要の反動により前年同月を下回りました。「衣料品(同5.6%増)」は緊急事態宣言解除後、来店客数が増加したことなどにより前年同月を上回りました。一方、「家庭用品(同0.4%減)」は前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、前年同月を下回りました(同0.5%減)。内訳をみると、「食料品(同6.5%増)」は3ヵ月連続で前年同月を上回りました。ウエイトの高い「衣料品(同8.0%増)」は、緊急事態宣言解除後、ポイント還元企画や人流回復に伴う需要増により「婦人服(同12.8%増)」、「紳士服(同22.0%増)」などを中心に伸び、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。一方、「雑貨(同31.3%減)」、「家庭用品(同34.2%減)」は、売り場面積の減少(テナント化)があり、前年同月を下回ったことから、全体としては6ヵ月連続で前年同月を下回りました。

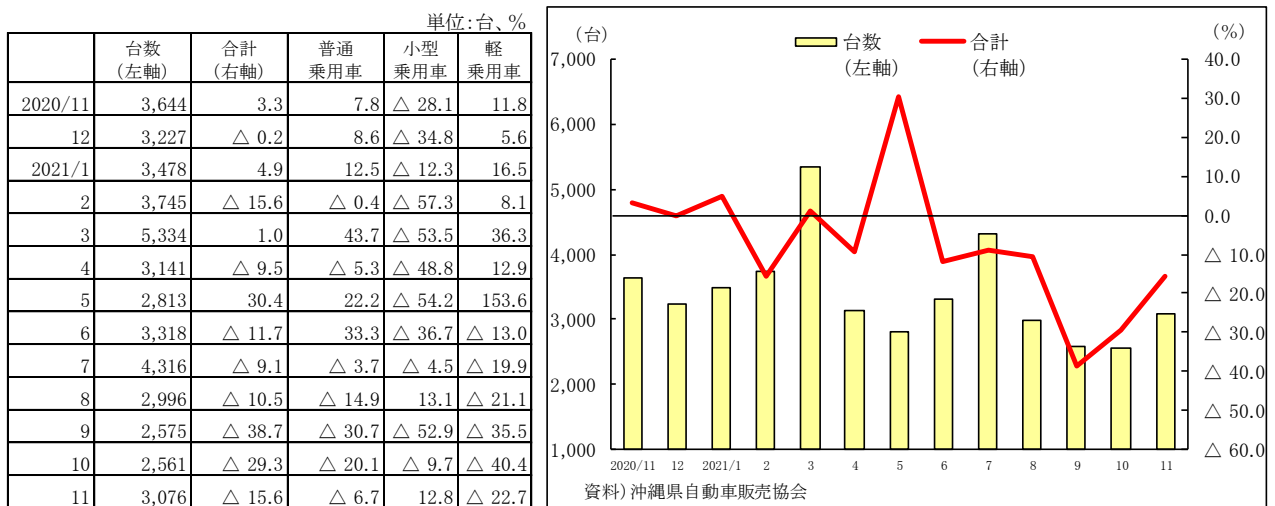
② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は6ヵ月連続で前年同月を下回る。



注) 前年同月比

家電卸出荷額は、6ヵ月連続で前年同月を下回りました(同5.7%減)。品目別では、「エアコン(同10.8%減)」、「テレビ(同18.2%減)」は、世界的な半導体不足の影響や生産を行う東南アジア工場のロックダウンが続いていることによる部品不足、昨年の給付金により家電に対する需要がひと段落していることなどから、前年同月を下回りました。

③ 新車販売台数…新車販売台数は、6ヵ月連続で前年同月を下回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

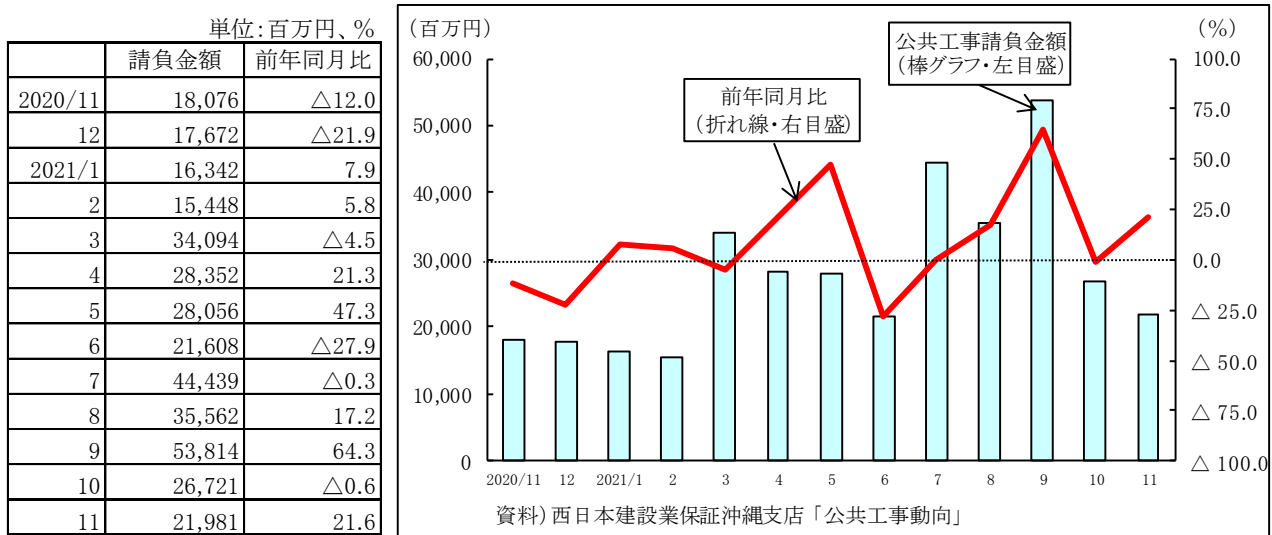
新車販売台数は、全体で3,076台(同15.6%減)となり、6ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「小型乗用車(同12.8%増)」が前年同月を上回りましたが、「普通乗用車(同6.7%減)」、「軽乗用車(同22.7%減)」において、世界的な半導体不足や東南アジア部品工場ロックダウンに伴う部品納品の遅れが継続していることにより、生産が減少し、前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

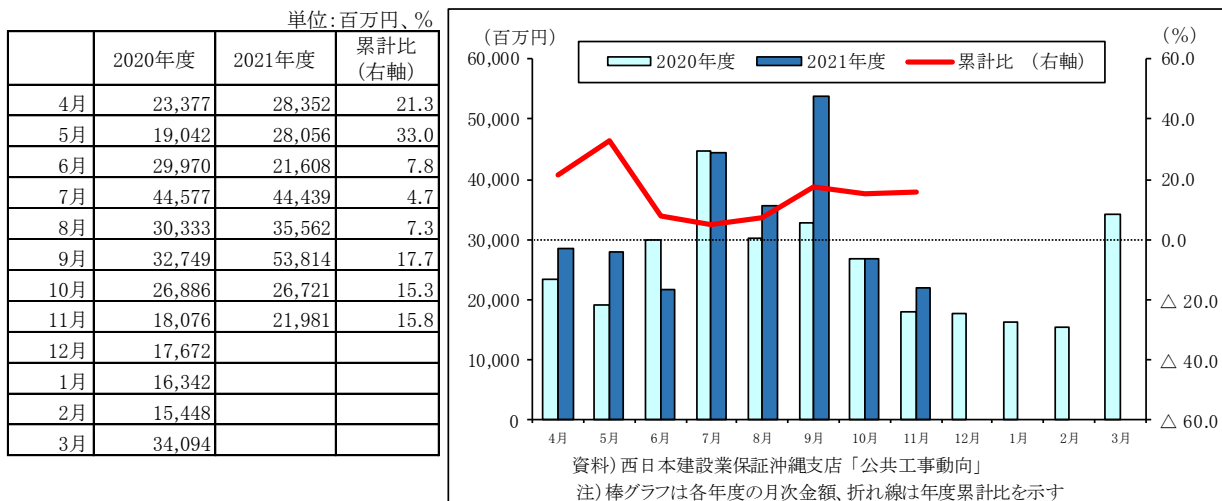


■建設関連： (ふつう)

①公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を上回る。



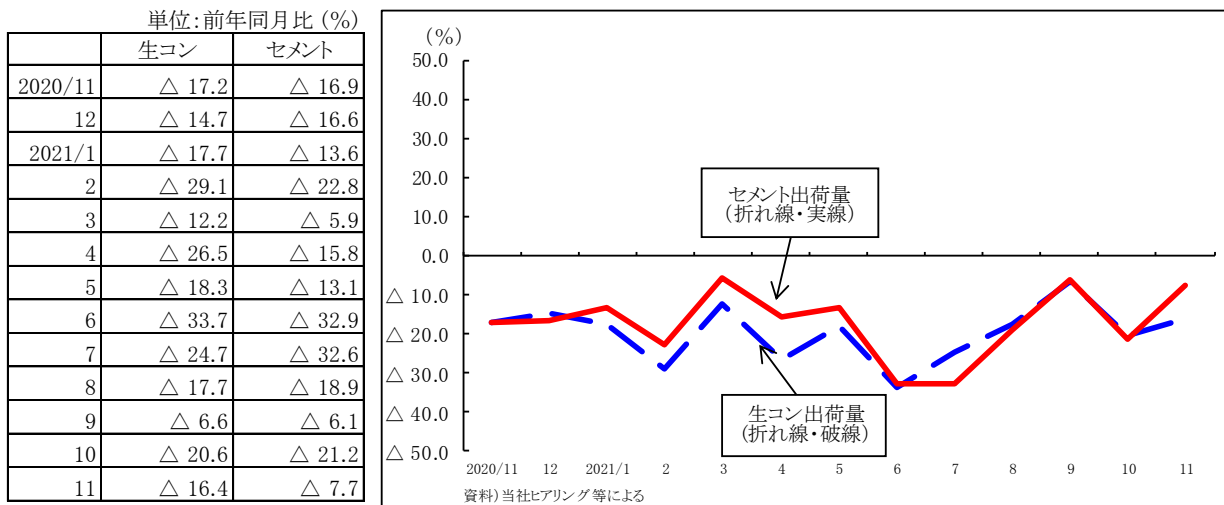
【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を上回る。



11月の公共工事請負金額は、前年同月比21.6%増の219億8,100万円となりました(2ヵ月ぶり増)。今年度累計値では15.8%増となっております。

発注者別でみると、「国(同55.2%増)」や「市町村(同38.9%増)」、「その他の公共的団体(同33.3%増)」は前年同月を上回りました。一方、「独立行政法人等(同85.2%減)」や「沖縄県(同32.6%減)」は前年同月を下回りました。

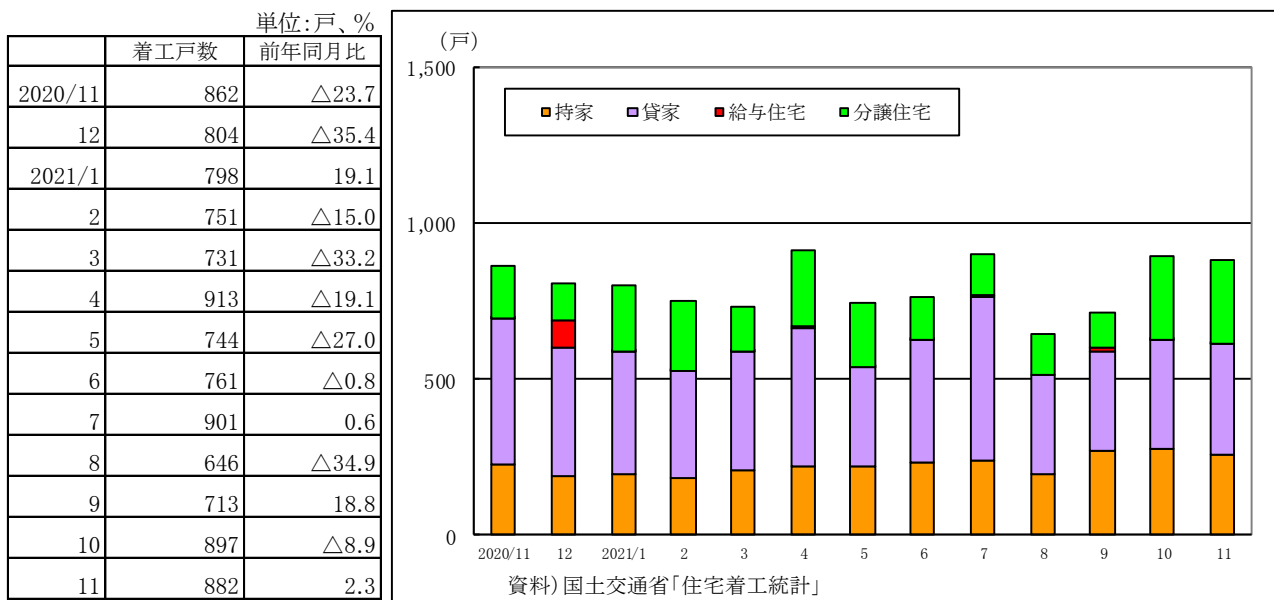
②建設資材・・・生コン、セメントはともに前年同月を下回る。



(注) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

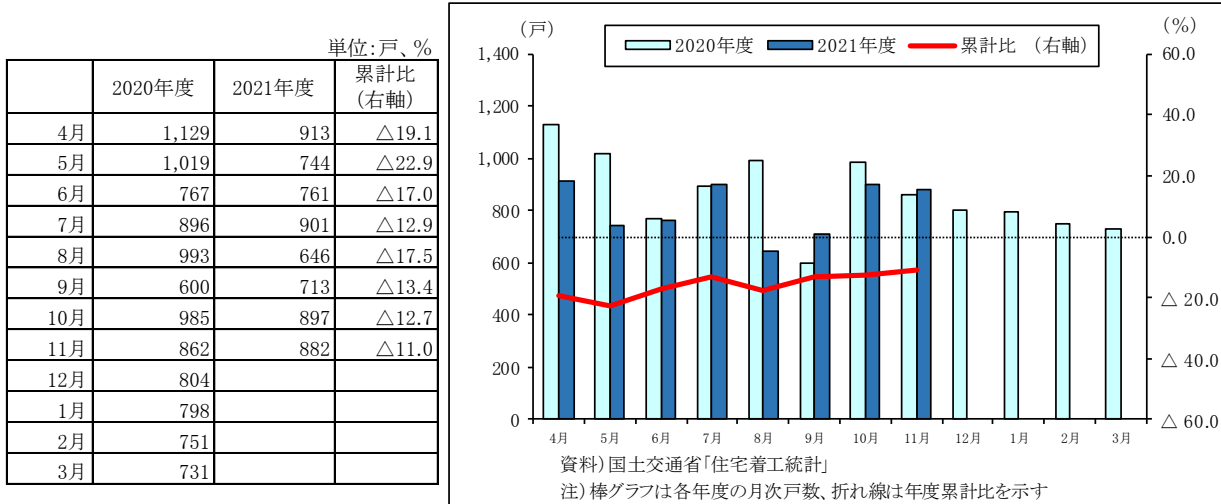
建設資材関連では、生コンの出荷量は 16.4%減と 22 ヶ月連続で前年同月を下回りました。内訳をみると、公共工事向けは、防衛関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より 35.4%下回り、民間工事向けは、ホテル関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より 3.0%下回りました。セメント出荷量は 7.7%減と 17 ヶ月連続で前年同月を下回りました。

③住宅投資・・・着工戸数は前年同月を上回る。



11月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比 2.3%増の 882 戸となり、2 ヶ月ぶりに前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、「持家(同 12.4%増)」や「分譲住宅(同 63%増)」は前年同月を上回りました。一方、「貸家(同 23.8%減)」は前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を下回る。



今年度累計値では、11.0%減となっています。



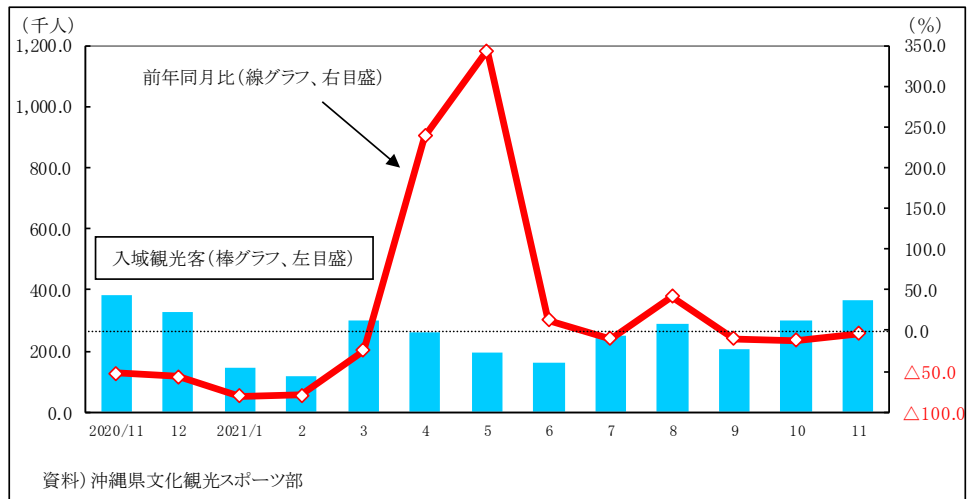
■観光関連： (やや悪い)

①入域観光客数（国内客・外国客の合計）・・・3ヵ月連続で前年同月を下回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2020/11	381.1	△ 52.3
12	326.2	△ 56.8
2021/1	144.0	△ 80.2
2	118.8	△ 79.9
3	299.2	△ 24.5
4	262.6	239.7
5	195.2	343.6
6	162.9	13.0
7	250.4	△ 9.7
8	288.2	42.1
9	204.9	△ 10.0
10	299.0	△ 12.4
11	368.0	△ 3.4

※外国客は乗務員等を含む

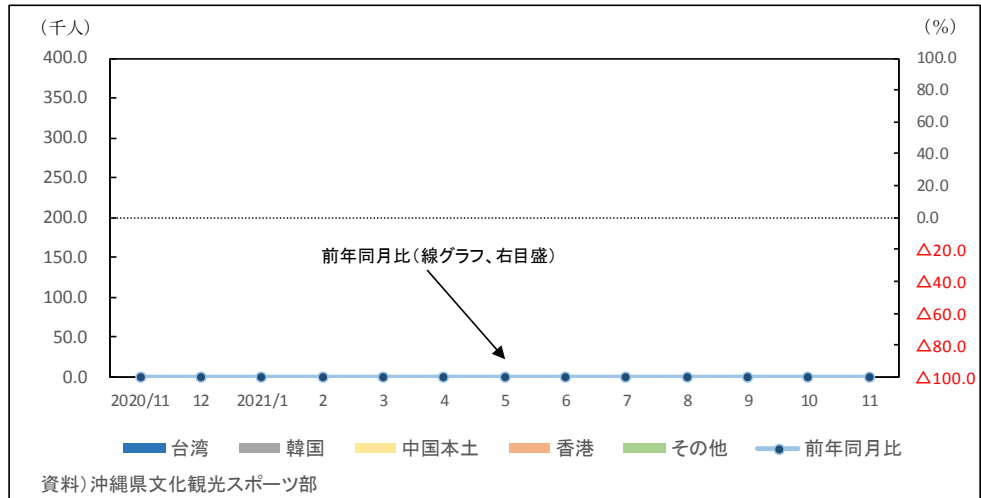


外国客 入域観光客数・・・前年同月同様、皆減。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2020/11	0.0	△ 100.0
12	0.0	△ 100.0
2021/1	0.0	△ 100.0
2	0.0	△ 100.0
3	0.0	△ 100.0
4	0.0	△ 100.0
5	0.0	△ 100.0
6	0.0	△ 100.0
7	0.0	△ 100.0
8	0.0	△ 100.0
9	0.0	△ 100.0
10	0.0	△ 100.0
11	0.0	△ 100.0

※外国客は乗務員等を含む



12月の入域観光客数は、13,100人少ない368,000人(前年同月比3.4%減)となりましたが、11ヶ月ぶりに入域観光客数が30万人を超えました。対前年比においては、Go Toトラベル事業(国内旅行者のおよそ3人に2人が同事業を利用)が一時停止されていることなどから、前年同月を下回りました。

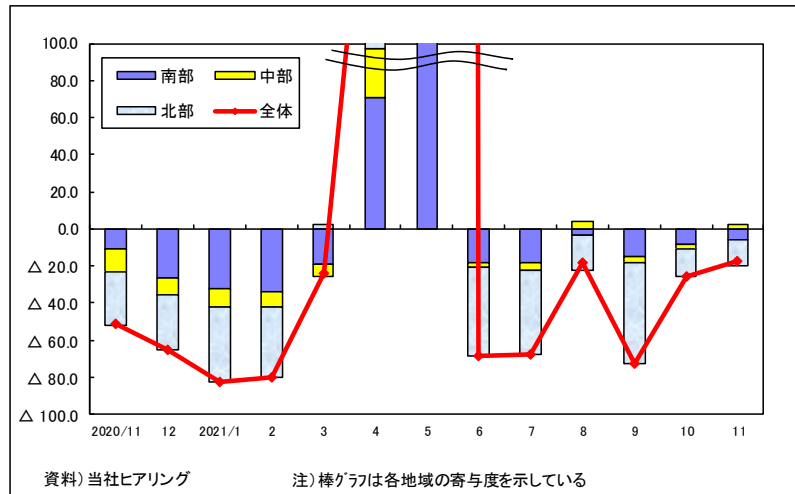
前々年(2019年)同月比では431,200人減少(54.0%減)と下回っており、依然として厳しい状況となっています。

外国客入域観光客数は、前年同月同様、皆減となりました。台湾、中国、香港、韓国を含む国や地域から日本への入国制限措置が継続しており、引き続き厳しい状況が続くと予想されます。

②観光施設入場者数・・・6ヵ月連続で前年同月を下回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2020/11	△ 52.0	△ 37.5	△ 79.2	△ 51.7
12	△ 65.4	△ 70.0	△ 65.5	△ 61.9
2021/1	△ 82.3	△ 87.8	△ 77.1	△ 79.6
2	△ 80.3	△ 91.1	△ 81.7	△ 72.5
3	△ 23.6	△ 46.0	△ 44.3	5.2
4	247.0	208.7	242.5	271.5
5	17,071.0	22,466.4	5,377.9	25,429.4
6	△ 68.8	△ 70.6	△ 47.7	△ 69.6
7	△ 67.5	△ 65.3	△ 64.9	△ 68.7
8	△ 18.4	△ 9.0	76.8	△ 35.2
9	△ 72.4	△ 56.8	△ 56.9	△ 79.8
10	△ 25.9	△ 28.1	△ 24.2	△ 25.1
11	△ 17.4	△ 16.0	31.3	△ 24.4



※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設
 ※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。
 ※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえて集計している。

観光施設入場者数は、全体では17.4%減となり、6ヵ月連続で前年同月を下回りました。県や市町村の需要喚起施策などにて一定の効果があったものの、前年同月はGo Toトラベル事業の最盛期であることから、前年同月を下回りました。一方、対前年比差は、2ヵ月連続で縮小しています。

地域別では、南部の観光施設は16.0%減、中部は31.3%増、北部は24.4%減となりました。中部においては一部施設において、新たな施設の開館があり前年同月を上回りました。

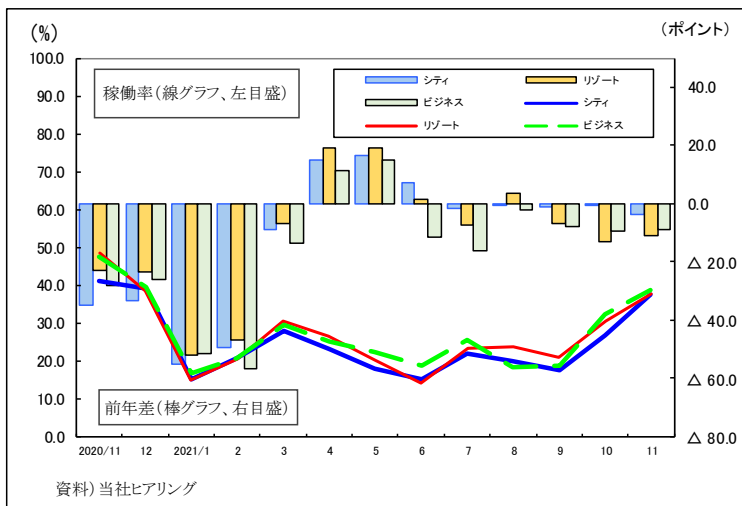
(参考)前々年(2019年)比では、全体で60.4%の減少となります。内訳では南部にある観光施設は47.5%減少、中部は72.7%減少、北部は63.5%の減少となっています。

③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルすべてにおいて前年同月を下回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2020/11	41.2	48.3	47.4	△ 35.1	△ 23.1	△ 28.2
12	38.9	38.5	39.5	△ 33.2	△ 23.3	△ 25.9
2021/1	15.1	14.9	16.7	△ 55.1	△ 51.9	△ 51.4
2	20.9	20.4	20.9	△ 49.4	△ 46.7	△ 56.7
3	27.8	30.3	29.4	△ 9.2	△ 7.0	△ 13.8
4	23.0	26.4	25.0	14.7	19.3	11.1
5	17.9	20.3	22.3	16.6	18.9	14.7
6	15.3	14.1	18.9	7.2	1.3	△ 11.5
7	22.1	23.2	25.3	△ 1.8	△ 7.3	△ 16.4
8	19.8	23.8	18.3	△ 0.2	3.5	△ 2.4
9	17.6	20.8	18.7	△ 1.2	△ 6.7	△ 8.0
10	26.8	30.4	32.2	△ 0.2	△ 13.3	△ 9.7
11	37.3	37.5	38.7	△ 3.9	△ 10.8	△ 9.1

注)シティ8ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス4ホテル
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



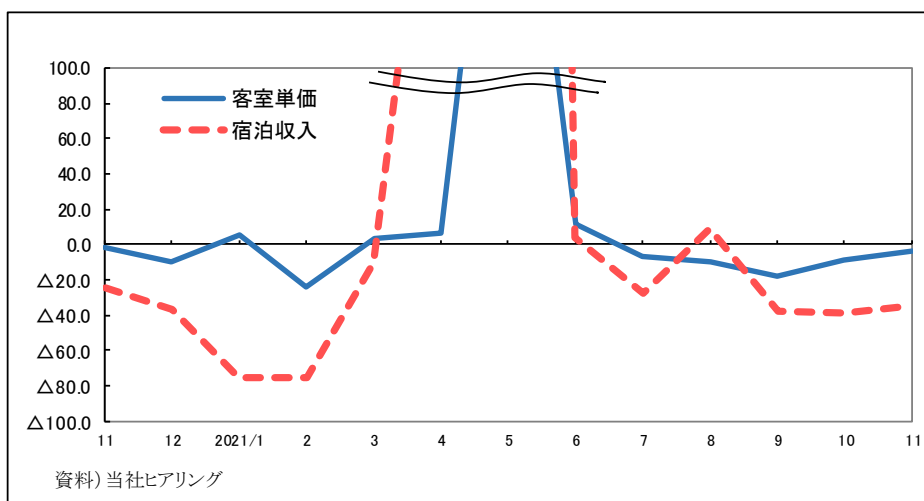
県内ホテル稼働率は、緊急事態宣言が解除され、宿泊需要が回復傾向となるものの、前年同月が Go To トラベル事業の最盛期であることから、前年同月を下回りました。シティホテルは前年同月比 3.9 ポイント減少、リゾートホテルは 10.8 ポイント減少、ビジネスホテルは 9.1 ポイント減少しました。一方、全てのホテルにおいて稼働率が 35%を超え、持ち直しの動きがみられます。

(参考)前々年(2019年)比では、シティホテルは 39.0 ポイントの減少、リゾートホテルは 33.9 ポイントの減少、ビジネスホテルは 36.9 ポイントの減少となりました。

④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価、宿泊収入ともに前年同月を下回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
11	△1.9	△24.4
12	△9.8	△37.2
2021/1	5.2	△75.0
2	△24.1	△75.6
3	3.5	△10.5
4	6.5	295.2
5	323.9	2,310.5
6	11.2	4.4
7	△6.6	△28.0
8	△9.9	8.9
9	△17.6	△38.1
10	△8.9	△38.9
11	△3.6	△34.4



※対象施設数: 26施設(シティ8、リゾート18)、ビジネスは除く(R3.10にてホテル1施設の集計終了し、R3.11より新たなホテル1施設を集計開始)
※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月より 3.6%減と 5 ヶ月連続、宿泊収入においては 34.4%減と 3 ヶ月連続で前年同月を下回りました。

(参考)前々年(2019年)比では、客室単価は 5.5%の減少、客室収入は 50.4%の減少となっています。

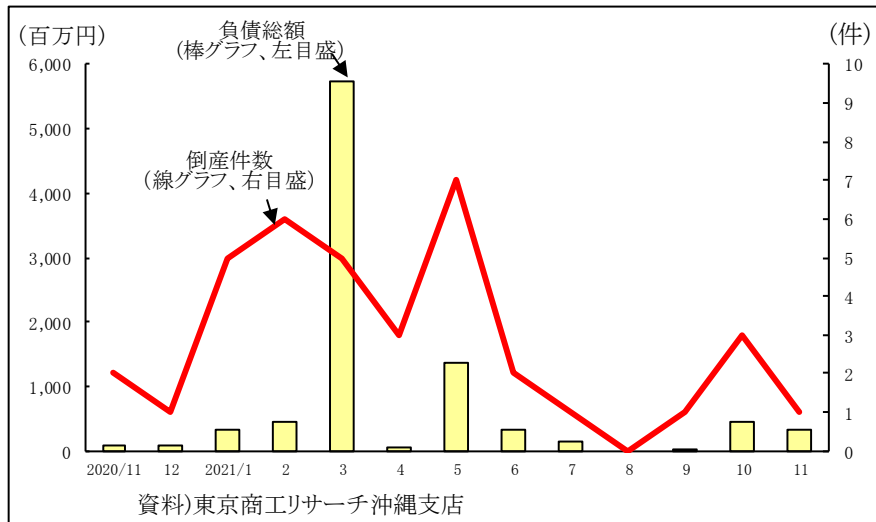


■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数は前年同月を下回り、負債総額は上回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2020/11	87	2
12	88	1
2021/1	312	5
2	454	6
3	5,753	5
4	37	3
5	1,359	7
6	337	2
7	154	1
8	0	0
9	26	1
10	434	3
11	320	1



資料)東京商工リサーチ沖縄支店

注) 負債総額1,000万円以上を集計対象

11月の**企業倒産件数**は、1件(うち大口倒産は1件)となり、前年同月より50.0%下回りました。

負債総額は3億2,000万円となり、前年同月より267.8%上回りました。

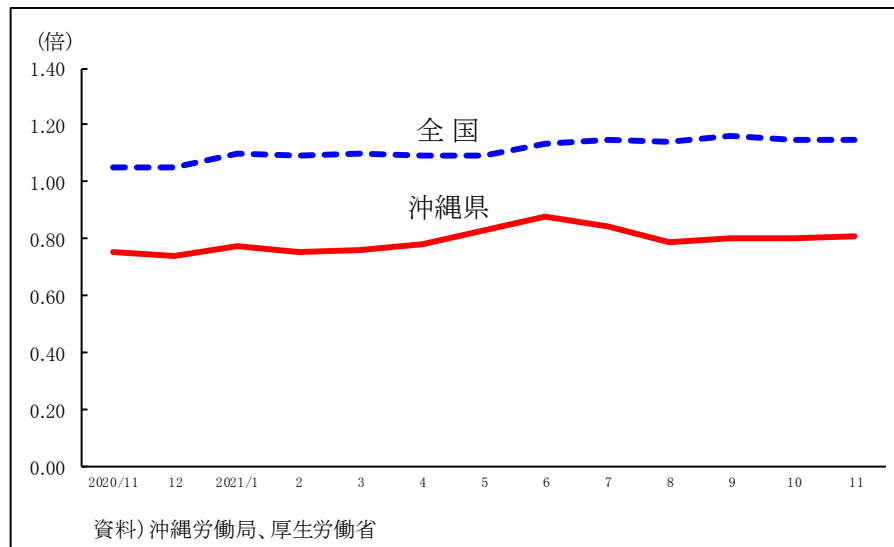


■雇用関連： (やや悪い)

①有効求人倍率(11月)・・・沖縄は前月より上昇、全国は同水準。

単位:倍

	沖縄県	全国
2020/11	0.75	1.05
12	0.74	1.05
2021/1	0.77	1.10
2	0.75	1.09
3	0.76	1.10
4	0.78	1.09
5	0.83	1.09
6	0.88	1.13
7	0.84	1.15
8	0.79	1.14
9	0.80	1.16
10	0.80	1.15
11	0.81	1.15



資料)沖縄労働局、厚生労働省

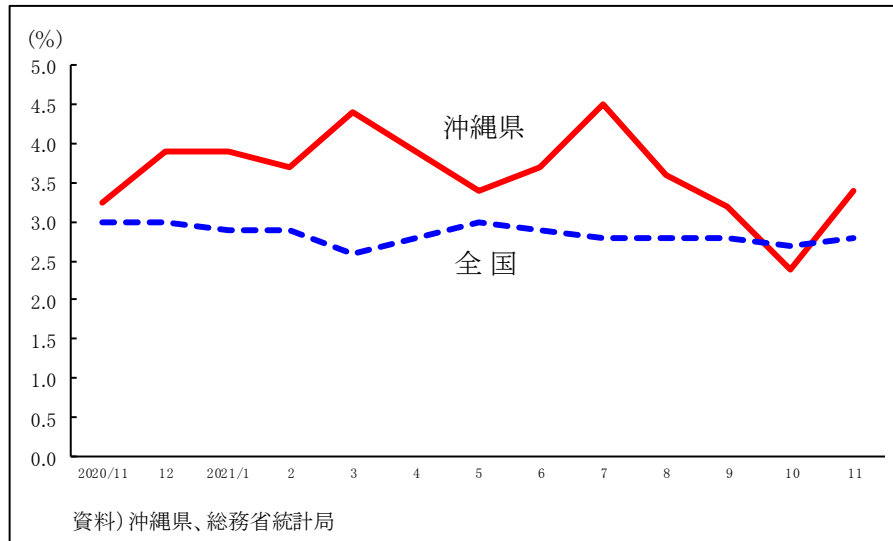
注) 季節調整済

注) 沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

11月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比0.6%減の25,650人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比1.1%減の31,832人となり、**有効求人倍率(季節調整値)**は0.81倍と、前月より0.01ポイント上昇となりました。

②完全失業率(11月)・・・沖縄、全国はともに前月より上昇。

	単位:%	
	沖縄県	全国
2020/11	3.3	3.0
12	3.9	3.0
2021/1	3.9	2.9
2	3.7	2.9
3	4.4	2.6
4	3.9	2.8
5	3.4	3.0
6	3.7	2.9
7	4.5	2.8
8	3.6	2.8
9	3.2	2.8
10	2.4	2.7
11	3.4	2.8



注) 季節調整済

11月の完全失業率(季節調整値)は、3.4%となり前月より1.0ポイント上昇しました。